

第91期中間報告書

2024年4月1日から2024年9月30日まで

証券コード 6246

Techno Smart

Changing Life with Coating Technology

CONTENTS

Top Message	1	トピックス	7
財務ハイライト	2	業績の概況	8
事業の概況	3	株式の状況	9
事業紹介	5	会社概要	10

株式会社 **テクノスマート**

株主の皆様へ

Changing Life with Coating Technology

「塗工技術で生活に変化を」

私たち『株式会社テクノスマート』は、「塗工」・「乾燥」で世界の人々に貢献できる企業を目指します。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。当社第91期（2024年4月1日から2024年9月30日まで）の事業の概況につきまして、ご報告申しあげます。

当中間会計期間における経済環境は、海外ではロシアのウクライナ侵攻が長期化し被害が拡大している他、イスラエルとハマスの争いにおける停戦交渉の停滞、北朝鮮の度重なるミサイル発射といった地政学リスクが高まる中、高インフレの落ち着きなどを背景に、底堅い成長を維持しています。

わが国経済は、株価や為替の変動の影響で不透明感はあるものの、物価高を上回る賃上げや設備投資の拡大など景気の停滞期間を抜けて持ち直しの動きがみられました。しかし、物価高の動きは依然歯止めが効いておらず実質賃金がマイナスになる気配も見え始めています。結果、景気回復の動きにも懸念が見え始めています。一方で政界では少数与党による政権運営の不確実性と、米大統領選の結果に伴い同国の外交政策方針に大きな変更の可能性があることが新たな懸念材料となっております。

当社の主要な販売先である電気自動車（EV）市場は、最新技術や環境問題への関心が高いユーザー層の購入が落ち着いたことや、各国で補助金の打ち切りの動きが見られたことなどで需要拡大が鈍化しております。しかしながら需要の鈍化は、充電設備の整備など調整局面と考える動きも見られ、中長期的なEVの需要は拡大すると見込まれております。

このような状況下において、当社はエネルギー関連機器において中長期的な成長が見込まれる車載リチウムイオン電池関連の塗工乾燥装置をはじめ、全固体電池や燃料電池用塗工乾燥装置の受注強化に取り組んでまいりました。今後もエネルギー関連機器に加え、ディスプレイ関連の液晶テレビやスマートフォン、タブレット端末



代表取締役社長

飯田 陽弘

用の光学フィルム、及び機能性フィルムや電子部品用塗工乾燥装置の受注強化に取り組んでまいります。

その結果、売上高は7,533百万円（前年同期比21.9%減）、営業利益は、1,462百万円（前年同期比8.6%減）、経常利益は1,489百万円（前年同期比8.0%減）、当期純利益は992百万円（前年同期比9.5%減）となりました。

受注高は、5,821百万円（前年同期比17.0%減）、その内輸出受注高は3,788百万円（前年同期比67.3%増）となりました。受注残高は30,137百万円（前年同期比24.6%増）、その内輸出受注残高は17,520百万円（前年同期比56.4%増）となりました。

EV市場の需要の鈍化を受け、当社の顧客でも設備投資の延期や鈍化の動きが見られます。今後の市場と顧客の動向を注視し、新エネルギーとして期待される種々の電池関連の生産機、試作機などの受注活動に注力したいと考えております。

新規受注のためには価格競争に加えて、顧客希望納期への対応が必要となりますが、半導体問題に端を発した電装機器の長納期化はかなり改善されてきたものの、大量の受注残に起因する人員と生産容量の懸念から、顧客の希望に応えきれていない状況も発生しています。納期検討においては顧客希望納期を十分に認識し、業務の効率化と生産量確保に努め、引き続いて納期短縮を進めてまいります。

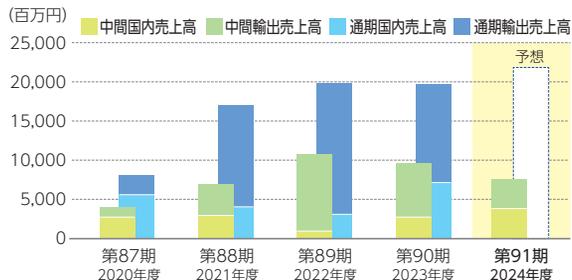
このような中、光学フィルム関連設備と合わせて、今後の成長に期待のかかる二次電池、燃料電池などのエネルギー関連業界に対する更なる販売強化と、全固体電池などの応用分野の開発に顧客と一緒に取り組み、営業展開の幅を広げてまいります。

2024年12月

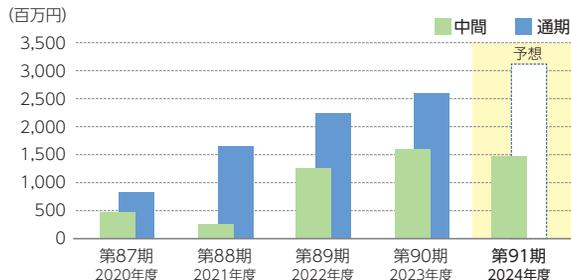
5年間の推移

売上高・各種利益とも前年比で減少も、通期では過去最高水準の着地見通し

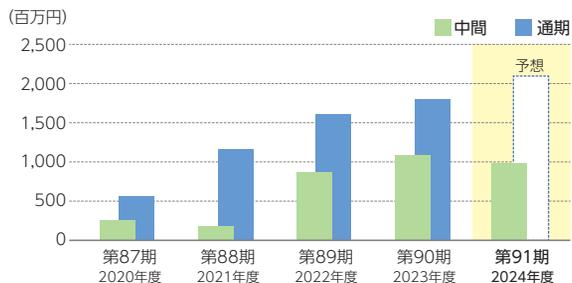
国内売上高・輸出売上高



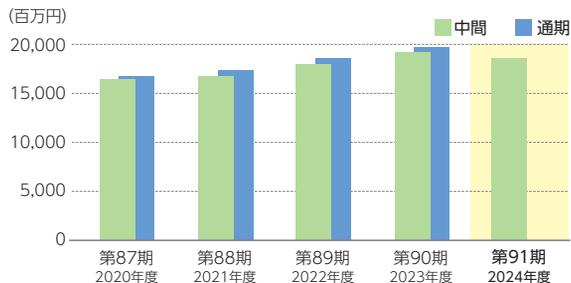
営業利益



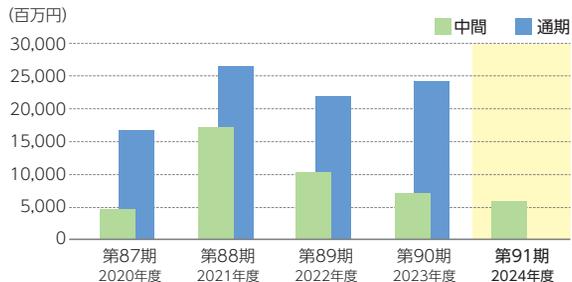
当期純利益



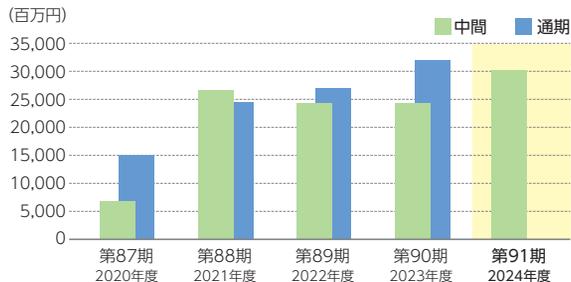
純資産額



受注高



受注残高



2025年3月期 業績予想

売上高 **21,700** 百万円

営業利益 **3,100** 百万円

当期純利益 **2,100** 百万円

これからも生産技術の ベストソリューションを 提案してまいります。

産業社会の発展に伴う多種多様なニーズに対し、営業、実験・開発、設計、製造グループといった総合的なサポート体制で臨み、着実に成長を遂げてまいりました。

経営理念

[経営理念]

誠実

真心をこめて一流の製品を作り、お客様の発展と地域への貢献ならびに我々社員の幸せの為に献身しよう。

行動

全社員の英知と総力を結集し世界的な会社の創造に邁進しよう。

転回

常に開拓者精神を培い、いかなる時勢の試練にも冷静かつ進取不屈の精神で事業永遠の繁栄に努力しよう。

環境理念

[環境理念]

地球環境の保全が将来にわたり重要な課題であることを認識し、企業活動のあらゆる側面において社員一人一人が、環境汚染の予防、環境保全に配慮しながら事業活動を推進する。

基本方針

- 環境保全に関する意識向上を図る。
- 環境保全活動の目的・目標を定める。
- 環境関連法規法令及び当社に関連するその他の要求事項を遵守する。
- 環境マネジメントの維持向上を図る。
- 環境保全のために地域社会に貢献する。
- 環境理念と基本方針は全社員が周知徹底し、必要に応じて社外にも公表する。

独自理念

[独自理念]

理想的なコーティングラインのために

テクノスマートは独自の理念「C-5」を提案します。

当社は最高の品質をお客様にご提供するため、独自の理念「C-5」を掲げ製品開発に取り組んでいます。

これらの理念どれもがモノづくりには欠かせないという認識のもと、すべての製品に対しテクノスマートの知恵と情熱が注がれているのです。

- ① クローズドタイプアプリケーションの採用
- ② クリーンルーム対応の設備
- ③ コンパクト設計
- ④ カセットチェンジコーターの採用
- ⑤ コンピューターシステムの導入

ディスプレイ部品関連機器



液晶用表示装置に代表される光学用途フィルム塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置。

売上高比率
21.5%

エネルギー関連機器



二次電池用塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置。塗工機以外の二次電池用製造装置及び関連機器。

売上高比率
34.3%

機能性フィルム関連塗工機器



一般産業資材用のフィルム用塗工装置及び関連する乾燥熱処理装置。

売上高比率
35.9%

化工機器



高機能性繊維・不織布関連の製造装置及び乾燥・熱処理装置並びに関連する付属機器。ポリマー樹脂等化工品の乾燥・熱処理装置。各種エンブレフィルム用製膜関連製造装置。

売上高比率
0.2%

電子部品関連塗工機器



半導体、FPC等電子部品関連用塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置。

売上高比率
2.5%

その他



各種関連機器の部品製造並びに改造・修理。

売上高比率
5.6%

「Techno Smart Series」のご紹介

塗工・乾燥装置を標準化することで製品開発から量産までの期間短縮ができるようになりました。

塗工乾燥装置の標準化「Techno Smart Series」

高精度コーター



高精度モーター、特殊カップリング高精度軸受の採用。

VCDコーター



低速～高速まで幅広い塗工速度範囲に適用。

CEDコーター

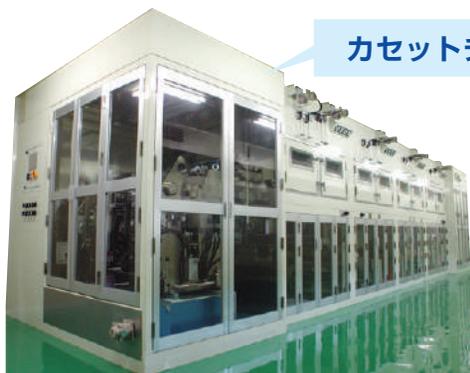


高品位塗工に対応クローズドコーティングシステム。

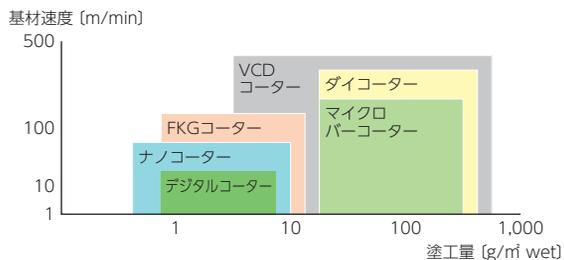
FKGコーター



版目の転写がない。ロール、ドクターブレード交換が容易。



カセットチェンジ方式で容易に塗工方式の変更が可能



ナノコーター



優れた薄膜塗工性能。スジムラがない。容易なロッド交換方式。

多層ダイコーター



多段化したスロットル構造により単層～多層の同時塗工を実現。

デジタルコーター



WET10 μ m以下の薄膜塗工。複雑な任意パターン塗工。

スマートラボ

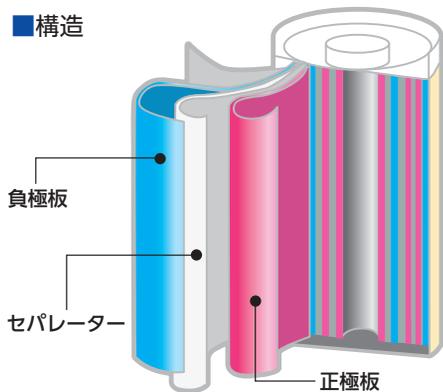


研究、試作用途に対応した設置場所を選ばないコンパクト設計。

二次電池のご紹介 リチウムイオン二次電池の製造には、当社の装置が使用されています。

【用途例】・携帯電話、スマートフォン、タブレット端末
・ノートパソコン、デジタルカメラ
・電気自動車、ハイブリッドカー 等

■構造



【二次電池 使用箇所】・正極板・負極板・セパレーター

■主な分類

	ニッケル水素電池	リチウム・イオン電池
自然放電	少ない	非常に少ない
エネルギー密度	高い	非常に高い
コスト	安い	高い
主な用途	ハイブリッドカー 電動工具	ハイブリッドカー 電気自動車 パソコン・携帯電話

二次電池は、充電式電池ともいい、電気を蓄えて繰り返し使用することができます。

円筒型の二次電池を一例としてご紹介していますが、使用用途に応じて角形、ラミネート型の二次電池もあります。

タッチパネルのご紹介 ハードコートフィルムの製造には、当社の装置が使用されています。



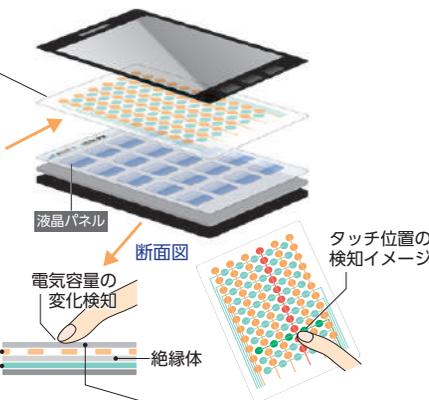
指先が触れた時に電極の変化をX軸・Y軸の電極列から知ることで位置を把握できます。

ITO層
(Y軸方向)

ITO層
(X軸方向)

ITO層

電気を通す透明な薄膜。真空中で金属を高温加熱し、蒸着により、電気を通す膜をつくる。



ハードコートフィルム
(表面保護)

繰り返し使用しても傷が入りにくく、透明度が高く表面を保護している。

タブレット端末 スマートフォン



▼使用箇所

- ハードコートフィルム
- 偏光フィルム
- 反射防止フィルム

▼使用箇所

- ハードコートフィルム
- 偏光フィルム
- 反射防止フィルム
- フレキシブルプリント基板

偏光板・ITO層ハードコートフィルム・IM (インデックスマッチング) フィルムの製造には、当社の装置が使用されています。

- 偏光板 (偏光フィルム)
特定の振動方向の光だけを通して、他の光を遮断させる。
- ITO層ハードコートフィルム
タッチパネル操作には欠かせないフィルムで、透明で電気を通す性能を持つフィルムです。
- IMフィルム
ITOパターンの視認性を低減する機能を持ち、タッチパネル画面を見やすくする機能があります。反射防止機能を持つものもあります。

第12回 FILMTECH JAPAN [大阪] – 高機能フィルム展 – 出展

2024年5月8日（水）～10日（金）の3日間、インテックス大阪で開催された第12回 FILMTECH JAPAN – 高機能フィルム展 – に出展いたしました。

期間中は多数の方が当社ブースを訪問され、有意義な情報発信と顧客ニーズの収集ができました。

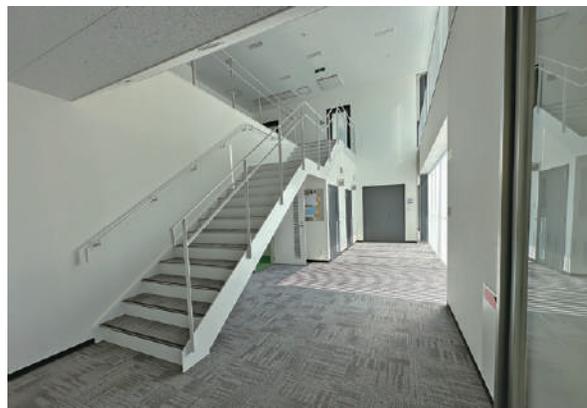


滋賀事業所 新実験棟竣工

滋賀事業所内にある実験棟において、お客様が望む塗工が可能かどうか実験機を用いてテストを行っていますが、お客様からの要望が多く、実験を待っていただく状況が続いておりました。

その問題を解決し納入期間短縮のため、同じく滋賀事業所に新たな実験機投入を計画し、2024年3月より新実験棟の建設工事を開始し、9月に建屋の引き渡しを受けました。

現在は新しい実験機の準備を行っており、来春からの稼働を見込んでいます。



業績の概況

■中間貸借対照表 (2024年9月30日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産	20,348,543	流動負債	7,536,119
現金及び預金	7,072,099	買掛金	1,109,370
受取手形、売掛金及び契約資産	9,805,654	電子記録債務	2,420,998
電子記録債権	2,149,014	未払法人税等	532,119
棚卸資産	1,305,041	前受金	2,677,621
その他	116,741	引当金	305,052
貸倒引当金	△ 100,008	その他	490,957
固定資産	7,259,996	固定負債	1,501,224
有形固定資産	5,133,407	引当金	1,011,529
建物	1,991,431	資産除去債務	6,412
機械及び装置	155,973	その他	483,283
土地	2,001,209	負債合計	9,037,344
その他	984,791	純資産の部	
無形固定資産	33,659	株主資本	16,698,068
投資その他の資産	2,092,929	資本金	1,953,930
投資有価証券	1,744,300	資本剰余金	1,693,830
その他	348,629	利益剰余金	14,598,308
		自己株式	△ 1,548,000
		評価・換算差額等	1,873,126
		その他有価証券評価差額金	775,643
		繰延ヘッジ損益	375
		土地再評価差額金	1,097,107
		純資産合計	18,571,195
資産合計	27,608,540	負債・純資産合計	27,608,540

■中間損益計算書 (2024年4月1日から2024年9月30日まで) (単位：千円)

科 目	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)
売 上 高	9,641,913	100.0	7,533,241	100.0
売 上 原 価	7,576,139	78.6	5,499,855	73.0
売 上 総 利 益	2,065,774	21.4	2,033,386	27.0
販売費及び一般管理費	466,494	4.8	571,130	7.6
営 業 利 益	1,599,279	16.6	1,462,255	19.4
営業外収益	32,477	0.3	40,077	0.5
営業外費用	12,231	0.1	13,097	0.2
経 常 利 益	1,619,526	16.8	1,489,236	19.8
特 別 利 益	111	0.0	104	0.0
特 別 損 失	0	—	8	0.0
税引前中間純利益	1,619,637	16.8	1,489,332	19.8
法 人 税 等	522,467	5.4	496,858	6.6
中 間 純 利 益	1,097,170	11.4	992,474	13.2

■中間キャッシュ・フロー計算書

(2024年4月1日から2024年9月30日まで)

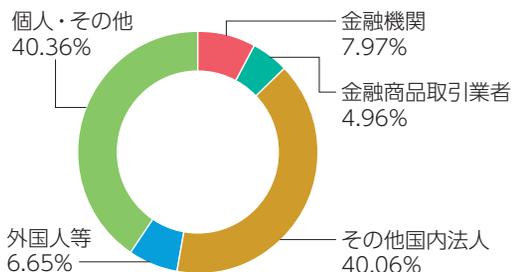
(単位：千円)

科 目	金 額	
	前 期	当 期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,404,397	△ 194,960
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 181,968	△ 407,004
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 673,508	△ 1,939,312
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	1,934
現金及び現金同等物の増減額	1,548,920	△ 2,539,343
現金及び現金同等物の期首残高	9,483,051	9,611,442
現金及び現金同等物の中間期末残高	11,031,971	7,072,099

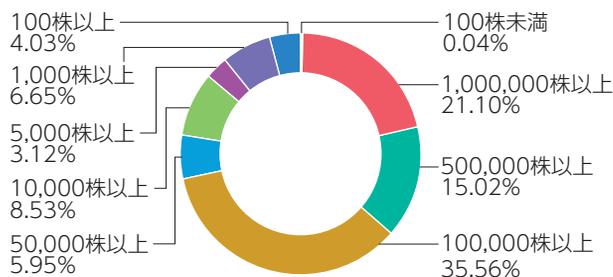
発行可能株式総数	25,000,000株
発行済株式の総数	12,401,720株
株主数	3,394名



所有者別株式分布



所有数別株式分布



当社株価と出来高



株主・投資家情報サイト

<https://www.technosmart.co.jp/ir/>

■ トップページ



当社ホームページではIR情報、製品情報など最新の情報がご覧いただけます。どうぞご利用ください。

会社概要 (2024年9月30日現在)

社名	株式会社テクノスマート
創業	1912年6月15日
資本金	19億5,393万円
本社所在地	〒541-0056 大阪市中央区久太郎町二丁目5番28号 久太郎町恒和ビル2階
電話	06-6253-7200 (代)
従業員数	242名
上場取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
証券コード	6246
事業所	滋賀事業所 [滋賀県野洲市] 東京支店 [東京都中央区]



大阪本社



東京支店



滋賀事業所

役員 (2024年10月1日現在)

代表取締役社長	飯田陽弘
常務取締役	西宮良材
取締役	下村壽一
取締役	高橋要
取締役	三沢浩司
取締役* 監査等委員	青木透
取締役* 監査等委員	岡健治
取締役* 監査等委員	平松亜矢子

※は社外取締役であります。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 *その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行う 公告掲載アドレス: https://www.technosmart.co.jp/ (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)
株主名簿管理 特別口座の口座管理機関 [郵便物送付先/各種お問合せ先]	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料) [受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)] ホームページ https://www.tr.mufj.jp/daikou/

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

Techno Smart

Changing Life with Coating Technology



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に
基づき、より多くの人に見やすく読みまちが
えにくいデザインの文字を採用しています。

